

# 自己資本

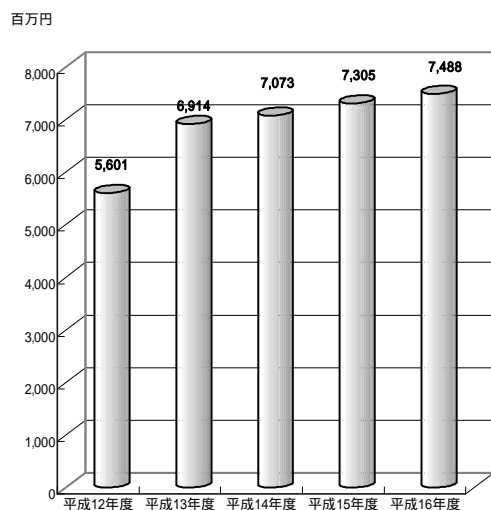
「自己資本比率」は、金融機関の健全な体質を示す指標です！

自己資本比率は、海外に営業拠点を有しない金融機関は国内基準を採用し、4%以上が目標とされております。この内部留保が総資産のどれくらいにあたるかは、経営の健全性を判断する重要な指標の一つであり、安心してお取引いただける度合いともいえます。当金庫の平成16年度の自己資本は9.06%で、国内基準を上回っており、経営の健全性は確保されております。

## 単体自己資本比率（国内基準）

項目		平成15年度	平成16年度
基本的項目	出資金	1,072	1,068
	利益準備金	784	816
	特別積立金	4,172	4,344
	次期繰越金	60	83
	処分未済持分	0	0
	計 (A)	6,088	6,312
補完的項目	再評価額と再評価の直前の帳簿価額の差額の45%相当額		
	一般貸倒引当金	733	475
	負債性資本調達手段等	700	700
	補完的項目不算入額	216	
	計 (B)	1,216	1,175
控除項目	他の金融機関の資本調達手段の意図的な保有相当額		
	控除項目不算入額		
	計 (C)		
自己資本額	(A)+(B)-(C) (D)	7,305	7,488
リスク・アセット等	資産(オン・バランス)項目	77,764	78,956
	オフ・バランス取引項目	4,941	3,675
	計 (E)	82,705	82,631
単体自己資本比率	$= \frac{D}{E} \times 100$	8.83%	9.06%

自己資本の推移



自己資本比率の推移

